



# 住まいの百科事典

一般社団法人日本家政学会 編 2021年4月刊行

A5判・742頁 定価26,400円(本体24,000円+税10%) ISBN978-4-621-30581-2

## 生活者視点から住まいを考察・分析し解説

住まい(住居)とは、あらゆる人々に健康で快適な暮らしを提供する場である。近年、急速な少子高齢化やライフスタイルの多様化などにより、暮らし方や住まいの概念、そしてその在り方や形態も大きく変貌している。こうした状況において、住まい手が、自身に合ったより良い暮らしを手に入れるためには、住まいにまつわるさまざまな知識を習得する必要があるものの、多くを専門家に頼りきっているというのが現状である。そこで本事典は、住まい手に対して、現在の住まいにまつわる状況と、本来あるべき住まいの姿について、その基礎から応用までをわかりやすく解説した中項目事典である。

### 関連書籍



## 第2版 コンパクト建築設計 資料集成[住居]

日本建築学会 編  
A4判・322頁  
定価6,820円(本体6,200円+税10%)  
ISBN978-4-621-07688-0

住宅やインテリアを学ぶ上で定番住宅から人間工学・環境・設備など住宅設計に関わる基礎的情報を網羅した”住宅辞典”。



## 衣服の百科事典

日本家政学会 編  
大塚 美智子 編集代表  
A5判・652頁  
定価22,000円(本体20,000円+税10%)  
ISBN978-4-621-08928-6

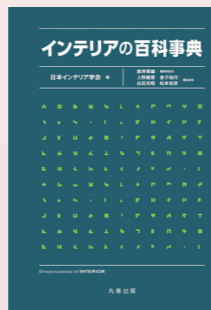
科学・医学から心理学・経済学・文学・芸術等、あらゆる学問分野の「衣服」に関して興味深いテーマを取り上げ、やさしく解説した。



## 児童学事典

日本家政学会 編  
吉川 はる奈 編集代表  
A5判・620頁  
定価22,000円(本体20,000円+税10%)  
ISBN978-4-621-30015-2

「子ども」を切り口に発達、保育、教育、福祉、医学等関連分野の重要事項を解説。子どもの成長、人間関係、支援等広範な知識を集約。



## インテリアの 百科事典

日本インテリア学会 編  
直井 英雄 編集委員長  
A5判・562頁  
定価24,200円(本体22,000円+税10%)  
ISBN978-4-621-30036-7

インテリアについて本格的に考えデザインしていく上で必須となる幅広い知識を、様々な切り口で解説した中項目事典。

# 住まいの 百科事典

The Encyclopedia of Housing  
The Japan Society of Home Economics

一般社団法人  
日本家政学会 編

A5判・742頁  
定価26,400円(本体24,000円+税10%)  
ISBN978-4-621-30581-2

### ■編集委員会(五十音順)

- 編集委員長**  
定行まり子 日本女子大学家政学部 教授
- 編集幹事長**  
葉袋奈津子 日本女子大学家政学部 教授
- 編集幹事**  
浅見美穂 日本女子大学家政学部 特任教授  
久保博子 奈良女子大学大学院生活環境科学系 教授  
小池孝子 東京家政学院大学現代生活学部 教授  
田中麻里 群馬大学共同教育学部 教授
- 編集委員**  
青木賀津子 日本女子大学家政学部 助教  
飯野由香利 新潟大学教育学部 教授  
生田英輔 大阪市立大学大学院生活科学研究科 准教授  
小坂橋恵美子 東邦大学健康科学部 教授  
小伊藤亜希子 大阪市立大学大学院生活科学研究科 教授  
鈴木佐代 福岡教育大学教育学部 教授  
戸田泰男 共立女子大学家政学部 教授  
延原理恵 京都教育大学教育学部 教授  
野村理恵 北海道大学大学院工学研究院 准教授  
久木章江 文化学園大学造形学部 教授  
藤平真紀子 奈良女子大学大学院生活環境科学系 准教授  
室崎千重 奈良女子大学大学院生活環境科学系 准教授

**丸善出版株式会社** 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル 書籍営業部  
TEL (03) 3512-3256 FAX (03) 3512-3270 <https://www.maruzen-publishing.co.jp>

丸善出版株式会社 行 FAX 03-3512-3270

注文書	住まいの百科事典 定価26,400円(本体24,000円+税10%) ISBN978-4-621-30581-2 冊	取扱店
	お名前	
	ご住所 〒	
TEL		

※ご注文をいただいた個人情報は、書店、取次(流通)・弊社間で商品手配の目的に利用させていただきます。

tkp.21.A0B

丸善出版



最新情報・詳細はこちら  
丸善出版ホームページへ

## 刊行にあたって（一部抜粋）

この『住まいの百科事典』は、生活の基盤となる住まいについてハード面・ソフト面の双方にわたる幅広い領域を対象として、日本家政学会がまとめた、家政学の一部門である住居学を主軸に、建築学、都市計画学、社会学、経済学、心理学、文化人類学などの隣接・近接する分野を包含する学際的な事典となっています。そして、住まいを取り巻く各分野における研究の「全体像」と「展望」を広く社会へ伝えることを目的としています。

この事典の特色として、物事を網羅的・俯瞰的に物事を解説するのではなく、特に重要であると考ええる事柄や、読者の関心が高いと思われるテーマを選び出して構成しました。また、事柄について調べるという用途のみならず、読み物としても読みごたえのあるものを目指しました。住居学に加え隣接・近接する各分野の研究も取り入れ、解説することで、読者が周辺の知識も一緒に学ぶことができ、学術的な興味もさらに広がっていくことを期待しています。各テーマについて、見開き2ページで説明を完結する事典として、編集しています。住まいについて、生活者の視点から考察・分析して、より暮らしやすい住居・居住環境を追求しながら、社会現象を含めた多様な切り口から研究している点が、例えば、隣接する建築学の視点でまとめられている類書とは、大きく異なると考えています。

この視点は、家政学が求めてきた学問のあり方にみることができます。家政学は、人々の幸せを追求する総合の科学であり、人間生活を豊かにする実践的で学際的な奥の深い学問です。現実の生活に即して、そこで暮らす人々について科学的なデータを採取し、事実を確認すると共に、問題を分析し、日常の生活に着目して対策を立てるという、きめ細やかさが求められています。

現在の住まいに関わる問題は多岐にわたっています。2011年3月11日の東日本大震災では、多くの尊い人命が失われ、また、多数の人々が住まいやふるさとを失う経験をしました。近年、台風や豪雨災害により、各地方で住まいを失い、避難生活を余儀なくされる状況が見られます。自然災害ばかりでなく、経済的な困窮により、最低限の住まいですら確保することも難しい状況も生まれています。閉ざされた住まいの中で、残念ながら孤独死や児童虐待などの問題も生じています。住まいと地域とのかかわりの重要性も問われています。住まいの問題は、地球規模の環境問題とも、安全や公衆衛生にも大きなかかわりがあり、この事典で取り上げる領域は多岐にわたり、掲載するテーマ数は303を数えます。（中略）

この事典はさまざまな使い方があります。例えば、住居学一般を学ぶ大学の授業では、15章をそのまま15回のタイトルとして、教員が関心のある伝えたいテーマを取り出して講義を組み立てることも可能です。また、中高の家庭科授業の参考図書としても有効です。さらに、一般市民から専門家まで利用いただけるように、基本概念・重要概念が盛り込まれ、読み通しやすく、加えて、現代的トピックスで構成されていますので、多くの方に活用いただけたらと考えています。

2021年3月

編集委員長 定行まり子

## 目次

### 第1章 気候・風土と住まい

（編集担当：野村理恵・田中麻里）

韓屋と民家：東アジア／四合院と大雑院：東アジア／生土建築の住まいとその守り方：東アジア／台湾の原住民と漢人の住居：東アジア／遊牧と定住の住居：中央アジア／大陸部のショップハウス：東南アジア／高床式木造住居：東南アジア／フィリピンの住宅変容：東南アジア／住居の象徴性：東南アジア／さまざまな中庭式住居：南アジア／イランの風情の塔・イエメンの塔状住居：西アジア／所有形態によらない暮らしやすさ：ヨーロッパ北部／フランスの住居：ヨーロッパ中部／都市の住居：ヨーロッパ南部／スラムの住まい：アフリカ／土着の家：アフリカ／スイットの住居：北アメリカ／ラテンアメリカの民家／人とのつながりも大切にする住居：オーストラリア／暑い地域の住居：日本／寒い地域の住居：日本／雨の多い地域の住居：日本／風の強い地域の住居：日本／コラム パーナード・ルドフスキー

### 第2章 歴史から読み解く住まい

（編集担当：小伊藤亜希子・田中麻里）

先史時代の住まい／古代の住まい／中世の住まい／近世の住まい／近代の住まい／町家／長屋／農家／戦前から戦後の集合住宅／高度成長期から現代の集合住宅／公営公団住宅と標準設計／nLDK住宅／脱nLDK住宅／集まって住む新しい住まいの発達史／高齢者のためのケア付き住宅の変遷／台所の歴史／トイレと風呂の歴史／建具と開口部の歴史／天井の歴史と系譜／起居様式の歴史／コラム 西山卯三

### 第3章 住まいの計画

（編集担当：青木賀津子・鈴木佐代・浅見美穂・小池孝子）

住まいの機能／暮らす人を知る／暮らしを知る／寸法を考える／物との関係を考える／気候を知る／まちを知る／敷地を知る／ヴォリュームを考える／領域意識・景観／開く・閉じる／一人で過ごす／家族が過ごす・集う／人を迎える空間、もてなす空間／性能を考える／インテリア計画と居住性／色彩・照明とインテリア／設計図書／住まいにかかる費用／住まいができるまでの手続き／暮らしの変化への対応／リフォームの設計／コラム 林 雅子

### 第4章 構法・構造・材料

（編集担当：久木章江・藤平眞紀子・浅見美穂）戸建住宅の構造／集合住宅の構造／木造／鉄筋コンクリート造／鉄骨造／工業化住宅／木材：構造材／コンクリート：構造材／鋼材：構造材／石・ガラス：内外装材／レンガ・瓦・タイル：内外装材／金属（アルミ、ステンレス等）：内外装材／ボード、壁紙、左官、畳、竹：内外装材／接着剤、防水、防火、遮音・吸音材料等／荷重と外力の種類と特徴／屋上や床上に載荷できる荷重／住まいの形状と荷重・外力／耐震・制振・免震構造／土圧・水圧、温度・津波／衝撃荷重等／住まいの構造デザイン／コラム 佐野利器

### 第5章 環境

（編集担当：飯野由香利・久保博子）

住まいの環境と健康・快適性／暑さ寒さと生活・快適性／温熱環境の特性と計測／人体側

の特性と計測・高温環境／室内温熱環境の調節方法／日射の入射と遮蔽／湿度と湿気の調整／通風環境と気流の快適性／夏期：室内の温熱環境と住まい方／冬期：室内の温熱環境と住まい方／室内空気汚染物質による健康影響／室内空気中の化学物質による健康影響／空気環境の清浄と換気／におい環境・嗅覚／大気汚染・悪臭／光環境と測光量／光環境と視覚／室内の光環境と住まい方／色彩とその心理効果／音環境の物理的特性／音環境と聴覚／室内の音環境と住まい方／電磁環境の現状と健康影響／コラム オレ・ファンガー

### 第6章 設備

（編集担当：飯野由香利・久保博子）

住まいの設備とエネルギー／ガス設備／電気設備／暖房・採暖機器／冷房機器・エアコンディショナー／加湿器と除湿器／換気設備／給水・給湯設備／排水・通気設備／台所設備／トイレ／浴室・洗面台／家庭内の廃棄物・ごみ／照明設備／家電の安全で省エネな使用方法／太陽光発電設備・蓄電池・省エネルギー機器／環境共生住宅の設備／ネットワーク機器の活用とデータ連携によるサービス提供／福祉用具／福祉用具の安全な使用方法／防犯・防災機器（ホームセキュリティ）／コラム 佐藤功一

### 第7章 多様な生活者を支える住まい

（編集担当：小坂橋恵美子・葉袋奈美子）

地域共生／バリアフリー、ユニバーサルデザイン／生活を支える制度／生活を支える公共・福祉団体／幼老複合施設、老後移住／子育て期／



子どもの居場所／子育て・子育て支援施設／児童厚生施設、子どもの遊び環境／児童福祉施設／学校／義務教育／多様化する学生と高等教育機関／高齢期・介護と住まい／高齢者の生活を支える施設／「障がい」をめぐる概念／身体障がい／知的障がい、発達障がい／精神障がい、認知症／障がい者の生活を支える施設／地域における居場所：コミュニティカフェ／コラム ドロレス・ハイデン

### 第8章 都市・農村計画

（編集担当：室崎千重・葉袋奈美子）

国際的居住論の展開／現代的都市論／まちなみ景観の継承／生活と緑／生活と水辺空間／生活と道／居住地と公共交通／福祉のまちづくり／都市計画／地域をコントロールする手法／計画のない都市に発生する問題／都市の整備手法／ニュータウンの計画・課題／団地の再生／郊外住宅地／地方都市の課題と取組み／山村村落の特徴と課題／中山間地域の環境と課題／環境を評価する／住民参加／GIS／コラム エベネザー・ハーワード

### 第9章 住宅の需要と供給、そして政策

（編集担当：小池孝子・葉袋奈美子）

住宅の所有形態／住宅の所有権、居住権／住宅流通の仕組み／不動産市場の変化：新築重視から既存住宅活用型市場への転換と政策支援／情報の非対称性／経済を活性化する住宅建設／住宅政策：海外／住宅政策：日本／公的住宅の種類／居住水準／居住福祉／品確法、住宅性能表示制度／空き家問題の現状と背景／空き家問題への対応／ホームレス問題の現状と背景／ホームレス問題への対応とハウジング／住宅建築に関わる法律／コラム 池辺 陽

### 第10章 住まいの維持管理

（編集担当：鈴木佐代・藤平眞紀子・浅見美穂）住まいの管理の意義／住まいの耐久性／住まいの劣化と劣化要因／住まいの日常的な手入れ／住まいの定期的な点検、補修／住まいの維持保全／生活財の管理／住まい手の管理能力／住宅取得と家計：住居費の管理／住居管理と家計：住居費の管理／ファシリティマネジメントから見た住まいの管理／共同管理の意味：集合住宅の管理／生活管理：集合住宅の管理／保守と点検：マンションの管理／修繕計画と建替え：マンションの管理／超高層集合住宅：マンションの管理／マンション管理の課題／諸外国における集合住宅の管理／住まいの管理

と住宅ストック／住まいの管理とリフォーム／コラム オクタヴィア・ヒル

### 第11章 住居に関わる職能

（編集担当：藤平眞紀子・浅見美穂）

専門家と資格／建物の設計と工事監理／構造設計と設備設計／インテリアに関わる職能／技術士／設備に関わる職能／施工と施工管理に関わる職能／技能士／建物の維持管理に関わる専門家／建物診断に関わる職能／リフォームに関わる職能と相談窓口／福祉住環境整備とチームアプローチ／マンションの管理を支える／消費生活を支える／不動産に関わる職能／都市計画・まちづくりに関わる専門家／行政に関わる職能／居住地の生活を支える／コラム 浜口ミホ

### 第12章 災害と住まい

（編集担当：生田英輔・葉袋奈美子）

伝統的防災／地震／津波／火山／水害／土砂災害／強風災害／火災／原子力災害／災害直接死／被害判定／住まいの備え／防災訓練／ハザードマップと災害情報／防災・復興まちづくり／海外の災害復興／避難所／応急仮設住宅／災害公営住宅／住宅再建支援／生活再建支援／災害関連死／コラム 濱口梧陵と後藤新平

### 第13章 多様化するライフスタイルと住まい

（編集担当：延原理恵・小池孝子）

住まいの選択：多様化するライフスタイルと住まい／家族形態の変化／ひとり親世帯と住まい／若者の自立と住まい／職場と住まいの距離／子ども家族との距離／高齢期の住まいの選択／ネットワーク居住／二地域居住・移住／農的暮らし／DIYリノベーション／住民参加の住まいづくり：日本のコーポラティブハウスの特徴と新たな動き／コレクティブハウス／動物と暮らす／住まいに係わる情報源／コラム ウィリアム・メレル・ヴォーリズ

### 第14章 住教育の取組みに向けて

（編集担当：田中麻里）

学校教育における住教育／暑い季節の室内環境を整える：家庭科／整理整頓・掃除学習：家庭科／住まいの安全：家庭科／住み続けられる住まい：家庭科／暮らしやすい住環境：家庭科／消費者教育：家庭科／理科で説明できる暮らしの中の工夫：理科／防災教育：社会科／まちづくり学習：社会科／地域学習における

鳥瞰図の活用：社会科／住まいで心身を整える：保健体育／生活の美とデザイン：美術／総合的な学習の時間における住教育／フィンランドの住教育／デンマークの住教育／イギリスの住教育／ドイツの住教育／アメリカの住教育／家政学としての住居学・住教育／コラム 加古里子

### 第15章 持続可能な社会から見た住居

（編集担当：戸田泰男・定行まり子）

持続可能な社会／気候変動と住まい／商品化と住まい、住まいの作り手と住み手／地域の産業としての住まいづくり／環境に配慮した住まい／地域設備／生活者を支える地域の居場所／生活圏の拡大／ストック社会／エアママネジメント、安全・防犯・コミュニティ／住まいの防災・減災／建築家による新しい住まいの提案／住まいのダイバーシティ／住まいづくりの倫理／市民のための住教育／公共施設の再編／コンパクトシティ／ニュータウンの展望／外国人との共生／家政学としての住居学の過去・未来／コラム1 今和次郎の住居論／コラム2 吉武泰水／コラム3 ル・コルビュジエ／コラム4 ペアトリクス・ポター／コラム5 ジェイン・ジェイコブズ／コラム6 アントニン・レーモンドの創作の場、創造の思想／コラム7 橋口信助／コラム8 井上 秀

引用・参考文献／事項索引／人名索引

